803Tがサポートする音楽ファイル

ファイル形式	ビットレート	サンプリング周波数
AMRファイル	4.75Kbps～12.2Kbps	8000Hz
MPEG-4ファイル※（AAC-LC） MP3ファイル※	16Kbps～128Kbps	16000Hz～48000Hz

※ファイルによっては803Tで再生できないものがあります。

Beat Engineの動作環境

OS	Windows®2000または Windows®XP（Professional Edition／Home Edition）SP1以降
CPU	PentiumIII 500MHz以上のプロセッサ
メモリ	128MB以上（256MB以上を推奨）※
ハードディスク	音楽ファイルを除き、20MB以上の空き容量※
接続ケーブル／USBポート	USB1.1　2.0
CD-ROMドライブ	インストール時などに使用

※必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。
＜重要＞すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。

株式会社 東芝
モバイルコミュニケーション社
〒105-8001　東京都港区芝浦 1-1-1
http://www.toshiba.co.jp

商品コード：66000098

Vodafone 803T

vodafone

これ1冊で簡単に分かる！

803T音楽CDカンタン転送ガイド



ピアノホワイト　サックスブルー　スィングレッド

＜取り扱い上のご注意＞
音楽は著作権法により保護されています。音楽CDなどから転送・複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。この範囲を超えて権利者の了解なく複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、著作権法違反となります。お客様の自己責任の下、適法かつ適切なご使用・管理を行ってください。また、音楽ソフトから派生する問題に関して当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

TOSHIBA



お気に入りの曲をケータイで聴こう

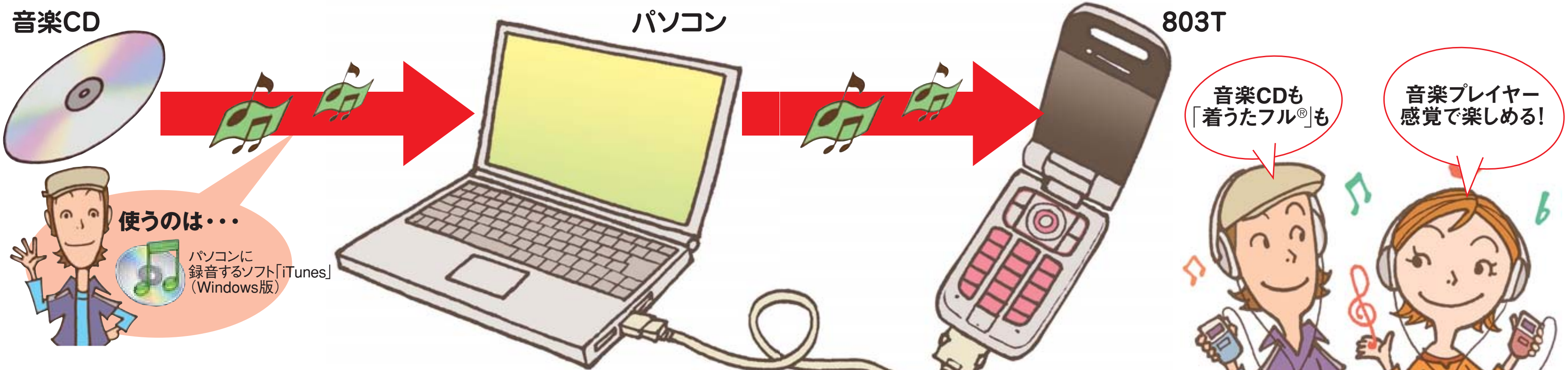
カンタン！楽しい！“ケータイで音楽”生活

手元にたくさん持っている音楽CDのお気に入りの曲をケータイで聴いてみたいと思いませんか？　それを可能にするのが音楽ケータイ803Tです。「なんだか難しそう」という人も、心配ご無用。音楽CDをパソコンに録音※、録音した曲を803Tに転送すれば音楽を聴くことができます。



音楽CDからパソコンへ録音

パソコンから803Tへ転送



※音楽CDに記録されている曲のデータを、パソコンで聴ける形式に変換して取り込むことを、この解説書では「録音」という言葉で説明しています。

INDEX



音楽CDの曲を“803T”に転送するまでの流れ

803Tは、音楽CDからパソコンを経由し転送した曲を再生する機能を備えています。ここでは、音楽CDの曲をケータイで再生できるようにするまでの操作手順を解説します。どんな手順があるのかを把握しておきましょう。

STEP 1



音楽CDをパソコンに録音しよう



803Tで聴きたい音楽を音楽CDからパソコンに録音します。この解説書では、録音用ソフトとしてアップルコンピュータの音楽ソフト「iTunes」を使った方法を説明します。

p6-7

STEP 2



パソコンと803Tをつなぐ準備をしよう



音楽ファイルをパソコンから803Tに転送するために必要なUSBホストドライバとBeat Engineをインストールします。

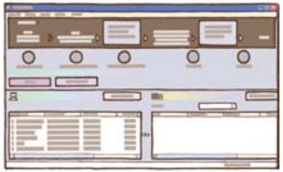
p8-9

※STEP2は、最初にパソコンと803Tをつなぐときに必要な作業で、2度目からは必要ありません。

STEP 3



パソコンに録音した音楽をBeat Engineに取り込もう



パソコンに録音した音楽の中から803Tで聴きたい曲を選んでBeat Engineに取り込みます。

p10-11

STEP 4



Beat Engineでパソコンから803Tに音楽を転送しよう



パソコンと803Tをつないで音楽を転送します。

p12-13

Q & A

Q パソコンの中にある、どんな音楽を803Tに転送できる?

803Tで再生できるファイル形式は、MP3／AAC／AMRです（拡張子MP3／3GP／M4A／MP4）。

※ただしファイルによっては再生できない場合もあります。

Q 「Beat Engine」とは?

パソコンに録音した音楽の中から、803Tで聴きたい曲を選んで転送するソフトです。803Tの箱に同梱されているCD-ROMからインストールできます。

Q MP3、AACの違いは?

MP3とAACはいずれも音声データを圧縮するための方式で、同じ音質のデータを比べた場合、AACのほうがMP3よりファイルサイズが小さくなります。MP3の4分の3程度のファイルサイズで済むため、803TではAACを推奨しています。

Q 音楽配信サイトで購入した曲を803Tに取り込める?

インターネットで購入した曲には、配信元が著作権を保護するためにライセンスによる制御をかけています。そのため、パソコン上で再生できても、803T用転送ソフトのBeat Engineに取り込むことはできません。iTunes Music Storeで購入した曲も同様です。

※音楽ソフトから派生する問題に関して当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。お客様の自己責任の下で、ご使用・管理を行ってください。

※音楽データや音楽CDによっては取り込みできない場合があります。

STEP 1

iTunesでパソコンに音楽CDを録音しよう

アップルコンピュータの音楽ソフトiTunesを使って音楽CDの曲をパソコンに録音しましょう。

1 iTunesをパソコンにインストールする

iTunesのWebサイト
http://www.apple.com/jp/itunes/download/
からiTunesをダウンロード。

※音楽ソフトの詳細については、提供元にお問い合わせください。

ダウンロードが完了したら、
iTunes Set up
をダブルクリック。
画面の指示に従ってiTunesをパソコンにインストールしよう。





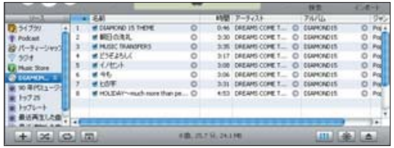
iTunesのWebサイト

2 iTunesで音楽CDから好きな曲をパソコンに録音する

インストールが終わったら　iTunesを起動。



パソコンのドライブに音楽CDをセットする。インターネットに接続していれば、音楽CDがセットされていることを自動認識して、曲名やアルバム名、アーティスト名が画面上に一覧表示される。

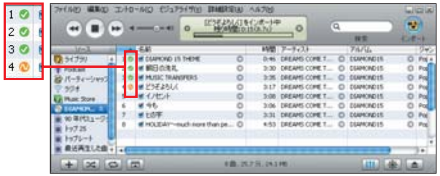


※曲名やアルバム名、アーティスト名が自動で入らないときは、右クリックで「プロパティ」を選んで入力します。

①録音したい曲にチェックが入っていることを確認して②iTunesの右上にある「インポート」をクリックすると、録音が開始。



のマークは録音が終わった曲で、のマークは録音中の曲。すべてになったら録音は完了。



録音した音楽は、「マイ ドキュメント」ー「マイ ミュージック」ー「iTunes」ー「iTunes Music」フォルダの中に入る。

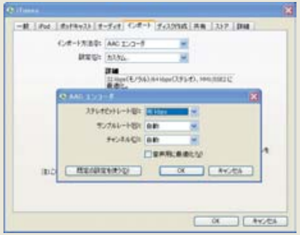
パソコンに録音する音質を変更するには

音質を表す目安の1つに「ビットレート」があります。ビットレートが高いほど音質も向上しますが、1ファイルあたりのデータ容量も大きくなります。

iTunesで音楽CDを録音する場合、初期設定では128KbpsのAAC形式で録音され、803Tに付属する64MバイトのminiSD™メモリカードには、おおむねCD1枚分程度を保存できます。

語学教材CDなど、音質を問われない素材を録音する場合などは、ビットレートを低くすると（80～96Kbps程度）より多くのデータを803Tに転送できます。

ビットレートはiTunesのメニューから「編集」ー「設定」ー「インポート」の順に選択し、「設定」で「カスタム」を選んで変更します。



803Tで再生可能なビットレートは128Kbpsまでになります。

音楽ソフトは「iTunes」だけでなく、バージョン10以降の「Windows Media® Player」も利用できます。この場合、「ツール」ー「オプション」から「音楽の取り込み」タブを選んで、「取り込み形式の設定」を「mp3」に変更します。
パソコンから録音するためのソフトウェアは、ウェブからダウンロードできます。
●Windows Media Player　http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia
※音楽ソフトの詳細については、提供元にお問い合わせください。

※音楽ソフトから派生する問題に関して当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
お客様の自己責任の下で、ご使用・管理を行ってください。

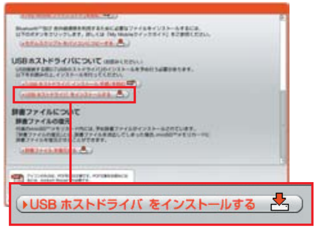


STEP 2 パソコンと803Tをつなぐ準備をしよう

音楽CDのデータを803Tに録音するための下準備をしましょう。

1 パソコンに「USBホストドライバ」をインストールする

まず、USBケーブルを接続する前に803Tに付属しているCD-ROM「ユーティリティソフトウェア」から、「USBホストドライバ」をインストール。



こんな表示が出た場合は？

USBホストドライバのインストール中に、右のようなアラートが何度か表示されますが、「続行」を押してインストールを続けましょう。



2 パソコンに転送ソフト「Beat Engine」をインストールする

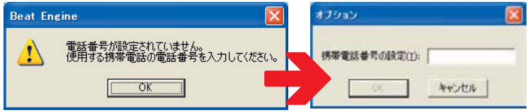
音楽を803Tに転送するためのソフト「Beat Engine」を、付属CD-ROM「ユーティリティソフトウェア」からインストール。

デスクトップ上に置かれたBeat Engineのアイコンをダブルクリックして起動。

Beat Engineを起動すると、電話番号入力を促すメッセージが表示されるので、自分のケータイの電話番号（ハイフンなし）を入力する。



※803Tでは、電話番号による著作権保護をしていますので、正しく電話番号を入力しないと803Tで再生できません。



Beat Engineを終了。

3 パソコンと803TをUSBケーブルでつなぐ

803TにminiSD™メモリカードを挿入。

USBケーブルの ⇠ のついたほうをパソコンのUSBポートへ、もう片方を803Tの手前にあるコネクタへ差し込む。このとき、ケータイを開いた状態で接続しよう。

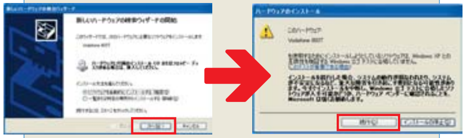


803Tに必ずminiSD™メモリカードを差しておく。裏表に注意して差し込むこと。

※同梱以外のminiSD™メモリカードは必ず803Tでフォーマットをしてからご使用ください。

はじめてパソコンと803Tを接続するときは･･･

最初にパソコンと803TをUSBケーブルで接続するときは、パソコンにこのような画面が表示されるので、以下の操作を4回繰り返す。



「次へ」をクリック　「続行」をクリック

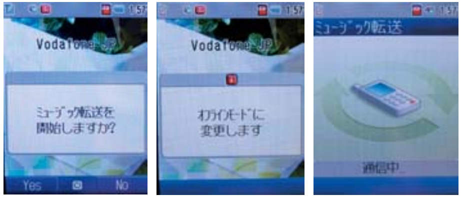
USBホストドライバとは

803Tをパソコンに接続する際に必要なソフトです。

パソコンと803Tをつなぐと、803Tのメイン画面に「ミュージック転送を開始しますか?」（画面1）と表示される。Yesを選択すると、803Tはオフラインモードになり（画面2）、音楽を転送できるように（画面3）なる。

パソコンの画面右下に、「新しいハードウェアが見つかりました」という表示が出て、803Tがつながったことが分かる。

これで803TにセットしたminiSD™メモリカードに、音楽を転送する準備は完了。



画面1　画面2　画面3

※USB接続時は、803Tは電波がオフの状態になり、メールや電話を受けられなくなります。

STEP 3 パソコンに録音した音楽をBeat Engineに取り込もう

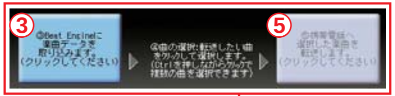
803Tに音楽を転送する準備をしましょう。

聴きたい曲をBeat Engineに取り込む

Beat Engineは誰でも簡単に使える、とてもシンプルなソフト。「簡単転送」メニューには、音楽転送に必要な6つの手順が書かれているから、その指示に従って③と⑤のボタンを押せばOK。ここではこの「簡単転送」を使って取り込んでみよう。



簡単転送メニュー





Beat Engineの画面。上の赤で囲まれたところが「簡単転送」。6つの手順で803Tへの転送が完了する

Beat Engine起動時にこんな表示が出たら…

Beat Engineの起動時に、パソコンのほかのメモリカードスロットにメモリカードが入っていると「不正なフォーマットです」と表示される場合があります。接続の際にはスロットからメモリカードを抜いておきましょう。

8ページでインストールした転送ソフトBeat Engine を起動。

次に「③Beat Engineに楽曲データを取り込みます。(クリックしてください)」と書かれたボタンを押す。するとファイル選択のウィンドウが開く。

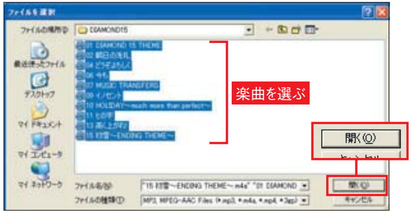


ここをクリック



「マイドキュメント」―「マイミュージック」―「iTunes」―「iTunes Music」とフォルダを開いていくと、アーティスト名で作成されたフォルダがある。中にアルバム名のフォルダがあるのでこのフォルダを開く。すると録音した音楽が入っている。

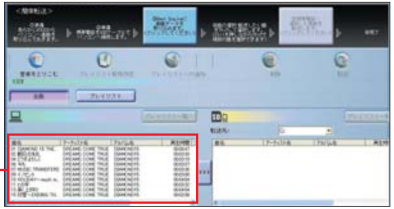
ここで803Tで聴きたい曲をクリックして選択し、「開く」を押す。複数曲を選ぶ場合は「Ctrl」キーを押しながら曲を選ぶ。



Beat Engineの左のリストに曲が登録される

<例>

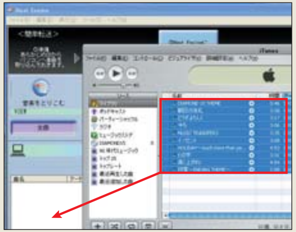
曲名	アーティスト名	アルバム名
01 DIAMOND 15 THE...	DREAMS COME TRUE	DIAMOND15
02 朝日の洗礼	DREAMS COME TRUE	DIAMOND15
04 どうぞよろしく	DREAMS COME TRUE	DIAMOND15
06 今も	DREAMS COME TRUE	DIAMOND15
07 MUSIC TRANSFERS	DREAMS COME TRUE	DIAMOND15
09 イノセント	DREAMS COME TRUE	DIAMOND15
10 HOLIDAY～much m...	DREAMS COME TRUE	DIAMOND15
11 とOの字	DREAMS COME TRUE	DIAMOND15
13 高く上がれ!	DREAMS COME TRUE	DIAMOND15
15 初雪～ENDING TH...	DREAMS COME TRUE	DIAMOND15



Beat Engineに取り込むもう1つの方法

iTunesからドラッグ&ドロップで
Beat Engineに取り込む方法もあります。

- iTunesを起動したままBeat Engineを起動
- iTunesの一覧から803Tに転送したい音楽ファイルを選んでBeat Engineの左側のリスト表示ウィンドウにドラッグ&ドロップする。これで803Tに録音したい曲が左のリストに取り込まれる。



803Tで聴きたい曲を選んでBeat Engineにドラッグ&ドロップ

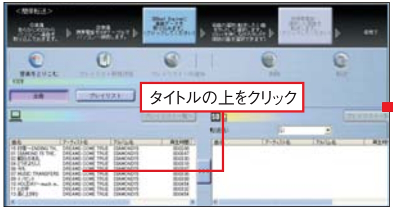


STEP 4

Beat Engineから803Tに音楽を転送しよう

聴きたい曲を803Tに転送します。

Beat Engineから803TのminiSD™メモリカードに曲を転送する



左のリストから、803Tで聴きたい曲をクリックで選択。複数曲を選ぶ場合は「Ctrl」キーを押しながら曲を選ぶ



曲を選ぶと⑤のボタンを押せるようになる

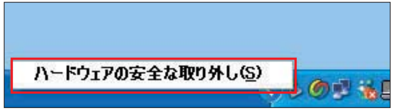


⑤のボタンを押すと、803TのminiSD™メモリカードに曲が転送される

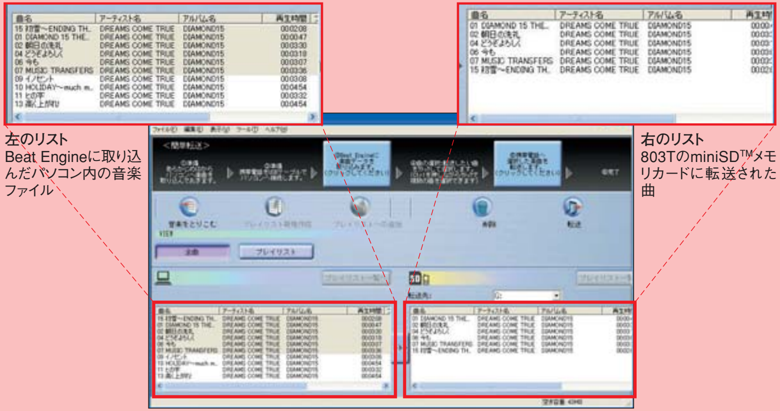


右のリストに曲が転送されたら完了。これで803Tで音楽を聴く準備ができた

ケーブルの取り外しは、画面右下のタスクトレイで「ハードウェアの安全な取り外し」をクリック。USB大容量記憶装置デバイスの取り外しを実行してから、USBケーブルを抜く。



Beat Engine——左右のリストの違い



●Beat Engineには、プレイリスト作成機能などの便利な機能があります。詳細は付属CD-ROM「ユーティリティソフトウェア」内の「Beat Engine ご利用ガイド」を参照してください。

803Tにうまく転送できないときは?

miniSD™メモリカードが803Tに挿入されていることを確認

音楽ファイルはminiSD™メモリカードに転送されるので、803TにminiSD™メモリカードが入っていないと転送できません。

いったんケーブルを抜いて再度、接続する

パソコンのUSBポートからケーブルを抜いて、再度接続してみましょう。

メニューからミュージック転送を選ぶ

803T側で「メニュー」－「設定」－「外部接続」－「USB」にアクセスして「ミュージック転送」を選びます。

お気に入りの曲をケータイで聴こう

803Tで音楽を聴いてみよう



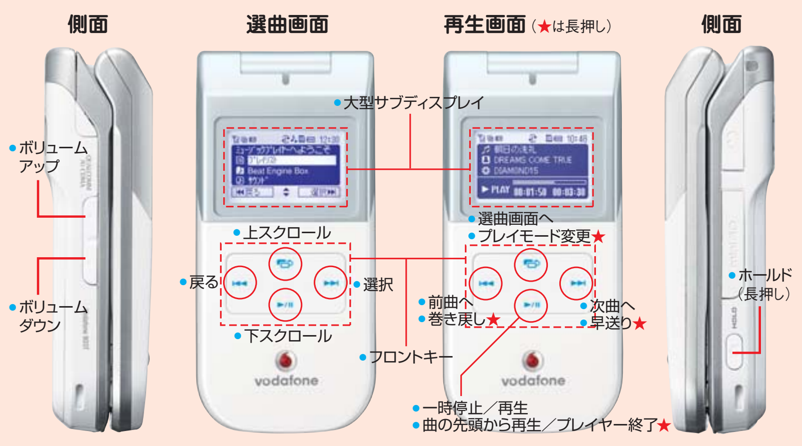
803Tは、背面に搭載された1.3インチモノクロ液晶と操作ボタンが特徴。端末を閉じると音楽プレイヤーに大変身！



閉じたまま、ここまで操作できる803T

パソコンから取り込んだ曲は、Beat Engine Boxの中に入っています。背面のボタンを◯・►/II・►►Iの順に押すと、ディスプレイに「アーティスト」「アルバム」「全曲」と表示されます。ここから◯ボタンで機能を選び►►Iボタンで選択する手順を繰り返すと、音楽CDから取り込んだ曲を聴くことができます。

Music Console



閉じたままできること

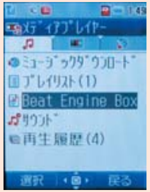
基本操作	起動・再生・停止・前後曲へのスキップ・早送り／巻き戻し・音量調整・ホールド・終了
選曲操作	アルバム・アーティスト・プレイリスト・全曲・再生履歴
プレイモード選択	リピート・オールリピート・ランダム・1曲再生・ノーマル

付属のリモコン付きステレオイヤホンマイクでできること

再生・一時停止・ボリュームのアップ／ダウン・前後曲へのスキップ・巻き戻し・早送り・ホールド・通話・手持ちのヘッドホンへの付け替え

803Tを開いて操作する

待受画面で▣（メディアプレイヤー）ボタンを押すと、「メディアプレイヤー」が起動。パソコンから取り込んだ曲は「Beat Engine Box」の中に入っている。



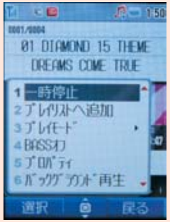
聴きたい曲を選んで決定キーを押すと、音楽の再生が始まる。







音楽の各種操作は、左上ソフトキー（メニュー）を押すとメニューが表示される。低音を効かせる「BASS」は803Tを閉じた状態では設定できないので、メニューからオン／オフを切り替えよう。



操作が分からないときは、再生画面の表示中に「1」キーを押す。音楽操作ガイドが表示されるので活用しよう。

